



私たちの歩み (10)

顧問・理事 酒井 滋子

＜酒井の残念（力不足）＞

①2004年、県の「ひきこもり者社会参加支援センター」運営事業補助制度の適用が認められました。「ひきこもり」の定義は、斉藤環先生の「社会的ひきこもりの定義」が引用されました。「20代後半までに問題化・6カ月以上、自宅にひきこもって社会参加をしない状態が持続・ほかの精神障害がその第一の原因とは考えにくい」この三項目をみたす事例が「社会的ひきこもり」と呼ばれるようになっていたのです。

ハートツリーハウスの居場所の利用者で、この「社会的ひきこもり」に当てはまらない方がおられましたので、その方々に居場所利用が続けられなくなったことを、お伝えし、方向転換をお願いしなければなりませんでした。このことは、とても苦しいことでした。

②自死「つらいんです」と、深夜に電話が入ることもあったのに、それからの対応を適切に出来なかった。(医療に頼りすぎた) 支援する者としての挫折。お母さんからいただいたお手紙は、今も読み返します。心が痛みます。

③ひきこもりの出口としての就労を急ぎすぎた。人間は多様です。「普通はこうでしょう」という既定概念を壊せなかった。

「私の仕事館」、「社会参加事業」、「やおき福祉会」の労働支援委託など、次々と働くことへと進めることが社会参加だと考えていました。「なかよし作業所」との交流の中で、「ここが僕の行きたい所」と、言った利用者さんがいたことを思い出します。

人間は多様だと理解し、それを認める人でいたい。

次号に続く

ネットに避難する若者とひきこもり

10月20日(土)
【時間】PM2時～4時(開場1時30分～)
【会場】BigU 1階多目的ホール
■参加費無料・申込み不要

心の健康を守るために ～心と身体のワークショップ～

12月15日(土)
【時間】PM1時30分～3時30分
【会場】田辺市文化交流センター
たなべる大会議室
■参加費無料



就労準備支援事業利用者の方々へのインタビュー

■就労準備支援プログラムを利用するきっかけ、利用したと思ったのはなぜ？

- 会社の都合で仕事を辞めることになってしまい、自分に自信がなくなりました。働くのが怖くて、数か月、家事・手伝いをしていました。親が新聞にサポートステーションの広告が載っているのを見つと、とりあえず相談だけでも行ってみたい？と言われたので行きました。その時にプログラムを教えてもらったので、とりあえず自分に自信をつけたかったのと、リハビリのつもりで行くことにしました。
- うつ病になり退職し、精神が落ち着き始めて数か月経った頃に「このまま引きこもってはいけぬ」という気持ちと「親に迷惑をかけずに自力で稼いで生活したい。しかしいきなり働き始めるのは難しい」と判断したため。
- 進路が決まらず困っていたところを呼んでいただいた。

■カフェや工房などで、どんな仕事をしていますか？

- 台紙カットや容器のシール貼りなどの軽作業
- 使用済みの調理器具を洗う ・お菓子の分量を量り包装する作業
- お弁当の配達についていく ・工房の掃除
- 野菜を水ですすいでカットしたり調味料を計るなど簡単な調理作業



■実際に働いてみて感じたこと

- とても働きやすいなと思いました。きちんと細かく指示してもらえるし、毎回作業の仕方や使う道具の場所とかもきちんと教えてもらえるので作業がやりやすいです。ちょっとしたことでもほめてもらえるので嬉しいです。他人には分かってもらえない自分の苦手なことや怖いことをわかってくれて配慮してくれるのが本当にありがたいです。
- しばらく外に出ていなかったため、人とのコミュニケーションをとるのが大変に感じました。また、身体も動かす機会が少なかったこともあり立ち作業が辛く感じました。しかし、軽作業から始まり、徐々に作業内容が増えていくことで慣れていきました。そして賃金も頂けるので体験という形ではあれど、働くことの大変さやりがいを感じました。
- カフェや工房の人たちはみんな優しく失敗してもすぐに励ましてくれる。最初はしんどかったけど、何回も通ううちに作業にも慣れた。



■その他思うことなど

- とても働きやすい分、ちゃんと就職しなくちゃいけないのは分かってるんですが、就職しても今みたいに普通は配慮してもらえないと思うので不安です。このままずっといられたらいいのになって思っています。一般就職として雇ってもらえる制度があったら嬉しいです。
- 相談員の方をはじめスタッフ全員が優しく話しかけてくださるので、あまり緊張せず自然体でいられます。なので作業もしやすいです。皆様に感謝です。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひ致します。
- 1年間就労準備支援を受けてみて、自分でもびっぴりするぐらい変われた。本当にやって良かったし、何より嬉しいです。

